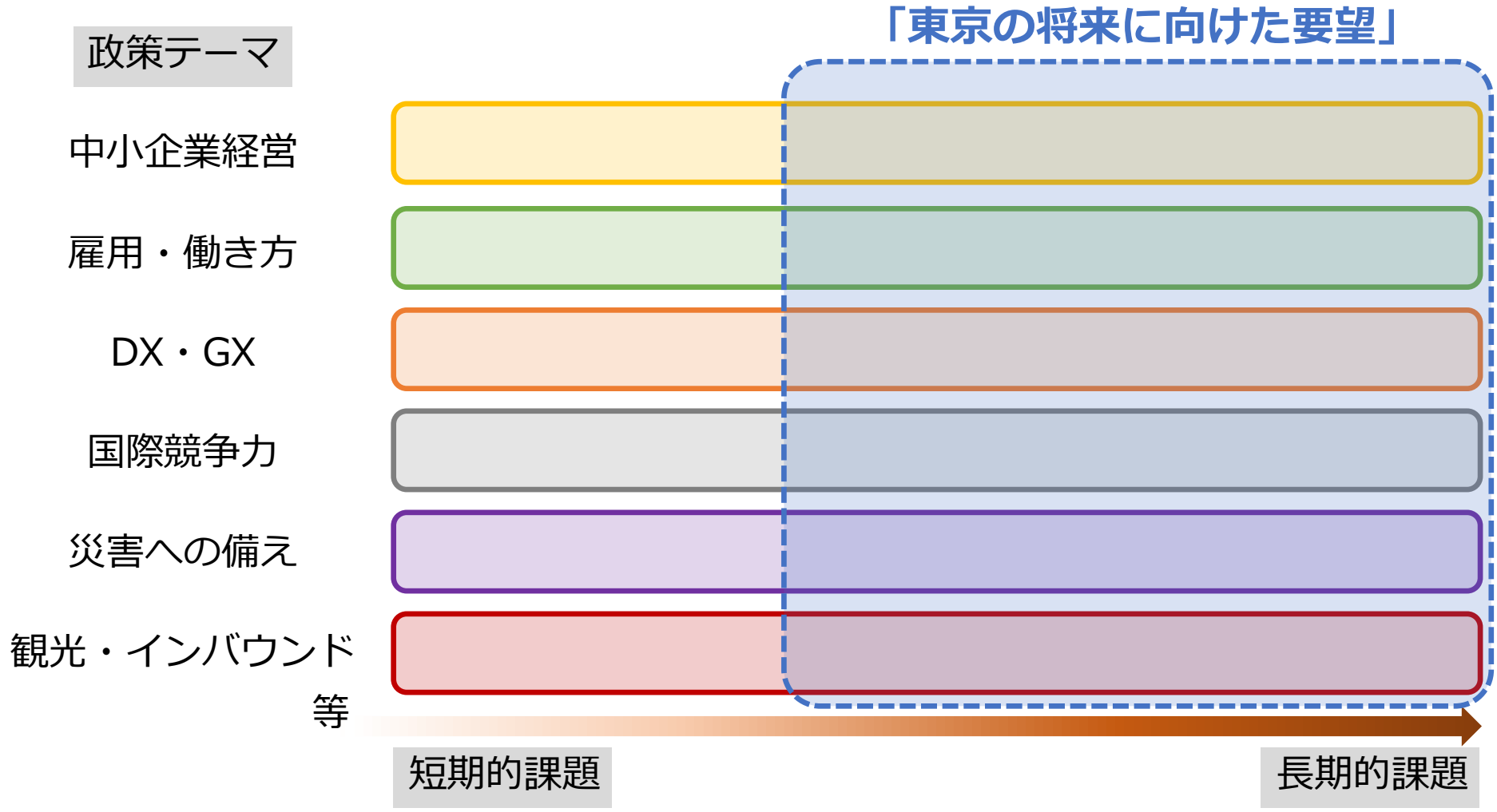
挑みつづける、変わらぬ意志で。
東京商工会議所

東京の将来に向けた要望
【概要】

2025年10月9日
東京の将来を考える懇談会

「東京の将来に向けた要望」の位置付け

- 「東京の将来に向けた要望」は、幅広い政策テーマについて、**東京の将来あるべき姿を示す**とともに、東京が抱えている**中長期的な課題の解決に関する要望に重点を置く**ものとする。



長く低迷する潜在成長率

- 日本経済は好循環への転換期にあるが、潜在成長率の推移を見ると、足もとで1%未満の低水準に留まる。
- 潜在成長率引き上げのためには、労働投入・資本投入・全要素生産性（TFP)の向上が必要であり、東京が日本をリードしていくにあたっては、特に**「少子化対策」「都市の集積の活用」**が重要。

【日本の潜在成長率の推移】 出典：内閣府「月例経済報告」（2025年6月）

【潜在成長率向上のために考えられる施策】

構成要素	労働投入	資本投入	全要素生産性（TFP）
施策	✓**少子化対策** ✓人材の確保 ✓キャリア支援 ✓リスキリング支援 ✓デジタル人材育成	✓継続的な設備投資 ✓インフラ投資 ✓デジタルインフラの整備 ✓知的財産（無形資産）の拡充 ✓AIの活用	✓**都市の集積の活用**（産業の掛け合わせ、大学・教育機関との連携、イノベーションの創出、国際都市力の向上）

人・知・企業・産業・データの集積性を有する東京が日本の成長をけん引する

東京と地方による「共存共栄」の必要性

- 成長型経済への転換期を迎えたいま、自治体間でのパイの奪い合いではなく、いかに日本全体でのパイを増やすかを考えるべき。
- 東京と地方がそれぞれの特性・強みを活かし、未来志向で補完関係を構築することが重要なのではないか。

国の中長期ビジョン（地方創生2.0）

我が国の基盤である「強い」経済と「豊かな」生活環境をさらに発展させ、「新しい日本・楽しい日本」を創り出していく。

- それぞれの地域における経済・社会、これらを支える人材の力を最大限に引き出す政策の強化
- 都市と地方の新たな結びつき・人の往来を円滑化する政策の強化など

東京都の中長期ビジョン（2050東京戦略・東京と全国各地との共存共栄）

東京と地方との共存共栄による「真の地方創生」で、日本全体の発展を達成する。

- 東京が世界と全国各地をつなげる結節点となり、イノベーション創出や経済成長を促進
- 東京が地方とともに多様な地域課題を解決し、日本全体の持続的な発展を実現
- 東京が世界的な大都市としてのポテンシャルを生かし、日本全体の持続的な成長をけん引

東京と地方が共に成長する『共存共栄』によって我が国の成長を実現

東京が抱える中長期的な課題

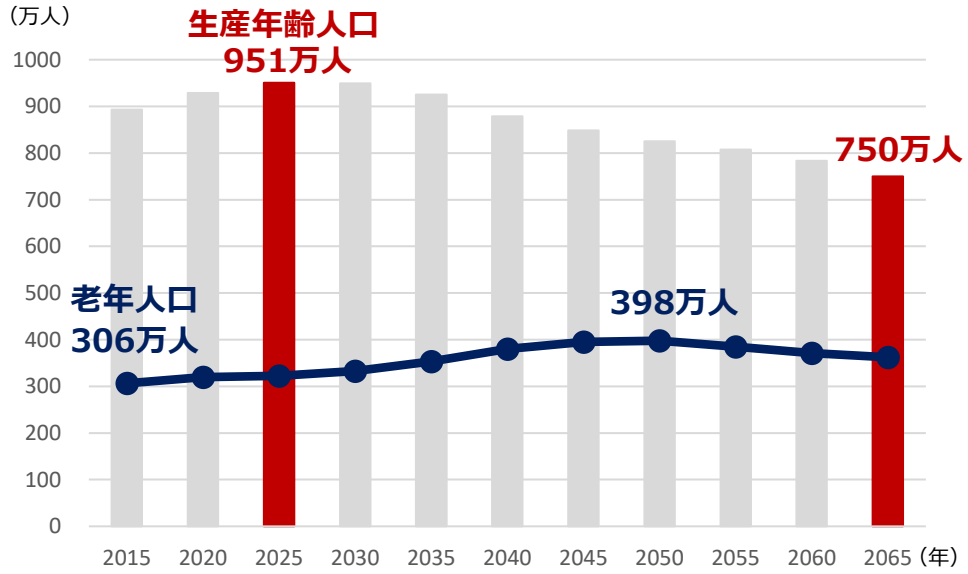
- 日本経済は緩やかな回復傾向にあるが、「世界の都市総合力ランキング」において経済分野での東京の順位は10位まで下落。老年人口の更なる増加が予想されるなか、経済活動の基盤である生産年齢人口は2065年に750万人まで減少する見込み。
- インフラの老朽化対策をはじめとしたレジリエンス強化など**東京の抱える課題は多く、いまこそ強い危機感を共有**すべき。

【経済分野における東京の直近5年間の順位推移】

2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
4位	4位	5位	10位	**10位**

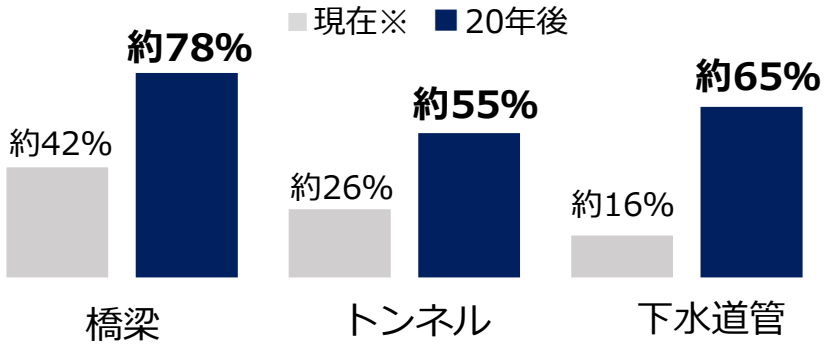
出典：森記念財団都市戦略研究所「世界の都市総合力ランキング」

【東京都の生産年齢人口・老年人口の推移予想】



出典：東京都「年齢階級別人口と各年齢階級の総人口に占める割合の推計」（2025年3月）

【建設後50年以上経過したインフラの割合(東京都)】



※2021年3月時点
出典：東京都の資料より事務局にて推計

【TOKYO強靭化プロジェクト】

100年先も安心して暮らせる
強靭で持続可能な都市・東京を目指す

自然災害等の危機に対応するため
ハードとソフトを組み合わせた施策展開

2040年代までの総事業規模 **17兆円**

出典：東京都

本要望の全体像

「ゲートウェイ東京」による日本の発展を目指して

- 日本経済は成長型経済への転換期を迎えており、長引く潜在成長率の低迷から脱却するためにも、東京の集積性・多様性を最大限活用した生産性の向上が不可欠。
- 首都・東京には、わが国の持続的な成長をけん引する役割が期待されている。
- 世界の成長を取り込んで産業を発展させながら経済的・社会的なインパクトを全国各地へ波及させる「ゲートウェイ東京」により、日本の更なる発展を目指す。
- 「人材」「産業」「都市」の生産性・持続性の向上により東京の成長を実現する。

日本の発展

Ⅰ．地方と世界を結ぶ「ゲートウェイ東京」の実現

東京と地方の「共存共栄」 、 世界の成長を取り込む首都・東京

東京の成長

Ⅱ．人材	Ⅲ．産業	Ⅳ．都市
多様な「人材」に選ばれ続ける東京	経済成長に向けた「産業」の構造転換	魅力的かつレジリエントな「都市」東京の構築

Ⅰ．地方と世界を結ぶ「ゲートウェイ東京」の実現

- 東京はゲートウェイとして地方と世界の結節点となり、地方との補完関係を維持・発展させるとともに、世界の成長と需要を取り込んで、日本の活性化につなげる。

１.東京と地方の共存共栄

- 日本を持続的発展に導くために、高い集積性を有する**東京が自ら汗をかき**、他の地域の課題解決・発展に結び付く**共存共栄に向けた取組み**を進めていく必要がある。
- また、**東京は**食料やエネルギーなど**多くの分野で全国の各地域に支えられ**て成り立っており、東京の成長・日本の発展には**地方の繁栄が欠かせない**。

２．世界の成長を取り込む首都・東京

- 世界の成長を取り込んで東京の活性化につなげるとともに、世界各地から流入する資源を東京の巨大な集積と有機的に結び付け、新たな価値を創出する。

要望

- ✓ 東京の産業活性化に資する世界の人・モノ・カネ・情報の取り込みと活用の促進
- ✓ 東京の情報集積を活用した日本各地のモノ・サービス・魅力の世界への発信力強化
- ✓ 羽田空港・東京湾が立地する優位性を活かした都内事業者の海外展開促進
- ✓ インバウンドを起点にした海外需要の創出とアウトバウンドへの波及・循環　等

Ⅰ．地方と世界を結ぶ「ゲートウェイ東京」の実現
1.東京と地方の共存共栄

● 東京の強みである高い集積性を活かして、地方の課題解決に貢献すると同時に、地方の強みである豊かな地域資源の恩恵を東京が享受する。

東京の強み
（高い集積性）

人
- 世界一の都市圏人口

知
- 大学･研究機関が都内に集積

データ
- 膨大な流通・消費・人流データ

産業企業
- 世界的企業の本社が集中

地方の強み
（豊かな地域資源）

エネルギー

自然環境

独自の文化・伝統

地場産業
- 農林水産業
- 製造加工業　等

要望

- ✓ 関係人口の創出・拡大に向けた国等との連携強化
- ✓ 都内企業のテレワーク環境整備への支援
- ✓ 他自治体と連携したUターンや二拠点居住等の支援
- ✓ 地方の産品を生産者と共に磨き上げる機会の創出
- ✓ デジタル技術を活用した東京の需要・供給の地方への波及促進
- ✓ 地方企業による東京支店の設置への積極的な後押し
- ✓ 都内企業のDEIB推進事例の発信・共有
- ✓ 中核都市への東京の集積活用に関するベストプラクティスの共有を通した多極集中による生産性向上
- ✓ 都内における安定したエネルギー供給に向けた地方との連携強化
- ✓ 地場産業（農林水産業等）の維持・発展に向けた取組みの強化
- ✓ 空き家問題解決に向けた先進的なモデル事例の構築
- ✓ 東京と地方の新たな連携やイノベーション創出に繋がる環境の整備
- ✓ 政策DX等の先駆的な取組みの共有

Ⅱ．多様な「人材」に選ばれ続ける東京
1.少子化対策 / 2.外国人材 / 3.賃上げ / 4.トランポリン

1．若者世代の視点に立った少子化対策

- 2024年、日本の出生数は統計開始以来初めて70万人を下回り、東京の出生数は**戦後最小となる8万4,205人**を記録し、少子化はより深刻化している。
- 世間に広がる**合計特殊出生率の誤解・誤用**を解消しつつ、従来の発想に捉われない、**若者の価値観に寄り添った**施策を打つ必要がある。
- 多くの若者が希望する共働きを前提とした採用・育成・働き方改革の支援・啓発が求められる。
- 夫婦が手を取り合って仕事・家事・子育てに向き合えるような社会の実現を目指す。

課題	• 合計特殊出生率の誤解と誤用 • 結婚・出産に対する経済的な不安 • 男性の育休取得率の低さ • 女性のL字カーブの存在	
要望		✓ 世間に広がる合計特殊出生率の誤解・誤用の解消 ✓ 結婚・出産・子育て支援の拡充 ✓ 共働きを前提とした企業の働き方改革の支援と啓発 ✓ 共家事・共育て・共教育を応援する社会の醸成　等

2．外国人材の受け入れに関する議論の深化

外国人材の受け入れ・定着に資する取組み強化、共生社会実現の検討　等

3．自発的・持続的な賃上げの実現

手取り収入増加の後押し、価格転嫁の商習慣化、生産性向上に資するDXの推進　等

4．トランポリン社会の実現「何度でも挑戦できる東京に」

社会復帰支援策の拡充、リスキリング・リカレント教育への人材投資、解雇規制見直しへの後押し　等

多様な人材にとって魅力あふれる都市の実現を

Ⅲ. 経済成長に向けた「産業」の構造転換
１.集積性/２.DX・GX/３.知財戦略/４.金融市場国際化

１．産業・知・データの集積性と多様性を活かして「皆で稼げる東京」へ

- 「世界の都市総合力ランキング」において、東京の経済集積は３位、人的集積は４位であり、世界的にも「**集積性の高い**」都市といえる。
- 都市の集積性には、新たなイノベーション創出など**経済の好循環**を生む可能性を秘めている。
- 集積性を最大限活かすためには、外向きで開かれた企業意識の醸成が必要。

課題

- 複雑化する社会課題
- 根強い自前主義
- サプライチェーン全体の付加価値向上

要望

- ✓ 多種多様な中小企業・大学等の集積を活かしたオープンイノベーションの促進
- ✓ 脱・自前主義による企業・産業の垣根を越えた協業・取引の促進
- ✓ パートナーシップ構築宣言の普及促進と実効性向上による取引適正化の推進　等

２．DX・GXを梃子にした需要創出・産業構造転換の促進

デジタル・脱炭素分野の産業競争力強化、生成AI・自動翻訳等新技術活用支援、グリーン化推進　等

３．世界の技術革新をリードする知財戦略を

来たる時代に適合した知財経営の推進、マッチング支援、東京都における知的財産専門部署の設置　等

４．産業の創出・活性化を加速させる東京金融市場の国際化

産業強化までのロードマップ明確化、デジタルを活用した中小企業金融推進、スタートアップ支援　等

世界をリードする次世代産業・スタートアップを東京から創出

Ⅳ. 魅力的かつレジリエントな「都市」東京の構築
１.国際文化都市/２.老朽化/３.災害リスク/４.バリアフリー

１．国内外から人を引き付ける「国際文化都市東京」の実現

- 東京は「世界の都市総合力ランキング」（森記念財団都市戦略研究所）においてロンドン・ニューヨークに次ぐ**総合3位**で、4位のパリとは依然僅差。
- 東京の国際競争力をより向上させるためには、**豊かな文化**を活かし、**人々の交流を促進させる**まちづくりが重要。

課題

- ナイトスポットや夜間イベントの経済波及効果が限定的
- ナイトタイムエコノミーを担う旗振り役が必要
- サブカルチャーや歴史文化を組み込んだまちづくりによる都市の差別化

要望

- ✓ ナイトタイムエコノミーの活性化
- ✓ 漫画・アニメを活用したまちづくり
- ✓ 歴史文化を活かしたまちづくり　等

２．都市の生産性・持続性を向上させるインフラ整備・老朽化対策の推進
インフラ老朽化対策、空港アクセス改善・機能強化、デジタルインフラ整備、緑の創出　等

３．あらゆる災害・リスクへの対策強化
フェーズフリーなまちづくり、オールハザード型BCP、首都直下地震対策、地域コミュニティ形成　等

４．多様な居住者に心地よいグリーンでバリアフリーな東京へ
太陽光・水素エネルギー活用、脱炭素化の国際連携強化、酷暑対策、面的なバリアフリー化の拡大　等

国際競争が激化する現代において安全・安心とともに強く輝く東京へ

挑みつづける、変わらぬ意志で。

東京商工会議所